

「県産農林水産物 安全・安心実感ツアーin 新地、相馬、南相馬」を開催しました。

生産者の皆さんとの交流や農作業体験など通して、相馬地方の農林水産業の状況や安全・安心の取組について学び、農林水産業の魅力を感じ愛着を深めてもらうことを目的として、農林産物の栽培施設の見学や体験等を行う親子バスツアーを平成30年2月25日（日）に実施しました。

小学生と保護者20組40名の参加があり、初めに新地町のきのこ栽培農家を訪問し、震災後の出荷制限からシイタケ栽培の再開への経緯などの説明を受け、ビニールハウス内での原木シイタケ栽培や植菌作業を見学しました。その後、相馬市の和田観光苺組合へ移動し、いちごの収穫を体験しました。いちご栽培の取組や、津波による被災からの復興への経緯などの説明を受け、昼食はバーベキューを行い、相馬産コシヒカリを使用したおにぎりなど地元農水産物を味わいました。

昼食後は、南相馬市鹿島区にある（株）ひばり菜園の野菜生産施設を訪問し、先進的栽培システムを導入した大型園芸施設での小ネギやトマト等の施設栽培について説明を受けました。

最後に、南相馬市鹿島区の万葉ふれあいセンターへ移動し、和田観光苺組合で収穫したいちごを使い、いちごスイーツ（いちごミルク白玉）づくりを体験しました。

参加者からは、「子どもに農業の生産現場を見せたくて参加した。普段、見るできない栽培の状況が見られて良かった。」「県産農林水産物は安全な物と認識しているが、生産者から安全な栽培管理の取組を聞いて安全性を再認識できた。」との意見がありました。



ビニールハウス内での原木シイタケ栽培



いちごの収穫体験



先進的栽培システムを導入した  
大型園芸施設（トマト）



収穫したいちごを使った  
スイーツづくり体験